

No.	意見	対応等
1	循環型社会形成推進事業費補助金で整備された施設に、「産業廃棄物税」を活用している旨の看板の設置を検討していただきたい。	循環型社会形成推進事業費補助金で整備された施設のうち、100万円を超える取得財産等については看板等に「愛知県循環型社会形成推進事業費補助金（財源：産業廃棄物税）充当」と表示するよう、補助金の要綱を改正しました。
2	再生利用率の推移は平成26年度以降、頭打ちで、最終処分率も平成24年度以降、下げ止まっているのが実態であり、愛知県はものづくりの県ということで、ものによるものなのか、技術的なものか、そのあたりも分析していただいた方が良いでしょう。	報告書（素案）の45、46ページに記載しました。 報告書（素案）の19ページに記載したとおり再生利用率はここ数年頭打ちですが、一方で17ページに記載したとおり製品出荷額の伸び率に比べて発生量、排出量の伸び率は低く抑えられています。 これらのことから再生利用に加え、排出事業者が発生量、排出量を抑える努力をすることにより、最終処分量を減らすよう努力されていることが推察されます。 今後も、廃プラスチックの再生利用などその時々に必要なものに税を充当できる事業を進めていきます。
3	県外に出ていく量が多くなっている原因が産廃税の影響か、県外とのやりとりを少し分析していただくのも良いと思う。	「産業廃棄物税に関するアンケート調査結果（前々回の資料2）」の設問4で県外で処理している理由として「税が上乘せされるため」は1.3%であり、最も多い回答は「県内に処理業者が無いため」の45.2%でした。今後は、県内に不足している処理は何かを調査し、それを補うための施策を講じていきます。
4	産廃税の導入県のグループ、未導入県のグループの比較を行っていただければ、よりいっそう理解が得られるのではないかと。導入したことによって産業廃棄物の出入りがどうなったか調べていただければ良いと思う。	参考資料3及び参考資料4のとおり比較しました。 産廃税の導入県のうち、税導入前からのデータが取得できる排出量の多い順に4県のデータを調べたところ、愛知県も含めた5県全てで税導入前に比べ再生利用率が高くなっています。一方、未導入県では再生利用率の推移が高くなっている県と低くなっている県があります。
5	適正処理に関して、特に電子マニフェストの普及促進を少しでもPRしていただけたらありがたい。	報告書（素案）の46ページに記載しました。 排出事業者や処理業者向けのセミナー、立入検査等で電子マニフェストをPRするなど、積極的に普及促進を図っていきます。
6	税収の活用は多岐に渡っているが、分かりやすい形で県民にアピールしていくと良いと思う。	報告書（素案）の46ページに記載しました。 パンフレットに産廃税による事業を紹介するなどの工夫を加えるとともに、各種講演会等の機会を捉えて県民へアピールしていきます。
7	産廃税ができた当時の熱い議論がだんだん薄れてきているのではないかと。それを5年ごとに検討会議で見直すということは非常に意味があって必要なことだと思うので、その時々々の社会情勢の変化に対応して、見直す機会としてしっかりやっていただきたい。	報告書（素案）の45ページに記載しました。 状況の変化への対応及び5年後の検討を明記しました。
8	廃プラスチックの再利用は色々なところで技術的開発が進行している。そういうところでうまく税収を充当していける工夫をしていただけると時代の流れに沿った活用方法になる。	報告書（素案）の46ページに記載しました。 令和2年度に製造、流通、排出、リサイクルにおける取扱量などの全体フロー、最新技術・先進事例及び課題などプラスチックを取り巻く状況を調査します。 また、令和2年度から「循環型社会形成推進事業費補助金」に「廃プラスチック処理施設緊急整備事業」を創設しました。今後もニーズに合わせた事業を展開していきます。
9	繰越金は、次の最終処分場のための積立と分かるような書き方をしてもらいたいと思う。	報告書（素案）の46ページに記載しました。 パンフレットに産廃税による事業の他、繰越金についての説明を加えるようにします。
10	補助金を、例えば技術的なことをクリアするための研究を補助対象にすることもある一つの手段である。それから、税金で払うのだったら研究開発に使うかという流れになると思うので、事業者が補助金を使いやすくするといった節税に似たイメージもあるといい。	報告書（素案）の5ページ及び46ページに記載しました。 「循環型社会形成推進事業費補助金」に「循環ビジネス事業化検討事業」として調査費、研究費等に対する補助制度があります。今後は当補助制度のPRを強力に進めていきます。
11	アンケート調査の中で意見を書いていただいている人はそれなりに関心が高いと思うので、これは良いという意見があれば、採用を検討していただきたい。	報告書（素案）の46ページに記載しました。 幅広いPRや税の使い道の公表、廃プラスチック類の再生利用促進などの意見は、直ちに反映させていただきます。